

さわうび

2018.12.3 No. 25 文責：大塚

道徳の授業研修会の会場でした！

11月30日（金）の午後、本校を会場として「四万十市・三原村道徳教育推進委員会」が行われ、40名あまりの関係者の皆さんのが来校しました。また、道徳教育参観日としてご案内させていただいたので、保護者の皆さんのが参加もありました。

当日は、本校の道徳の授業を参観した後、1時間程度の研究協議が行われました。大勢の参観者に囲まれての授業で生徒のみんなも緊張の1時間だったと思います。授業に使用した教材は、「村の絆」（『ふるさとの志』高知県教育委員会）という読み物です。

「村の絆」あらすじ

山間部の小さな村の中学生、清。突然の大雨で体育館に避難したが、そのまま一晩を明かさなければならなくなる。村の人たちも次々と避難してくる。「まったくここは、大変なところや」とうつむき、心細くなる清。しかし、村の人たちにも声をかけてもらったりしながら、清も小学生の達也を励ます。大人たちが動き回って物資を運んだりしたあと、やがて、発電機の明かりと笑顔が体育館に広がる。

翌日、迎えに来た父にそのことを話すと、父から「村の絆やねえ」との言葉が……。避難していた体育館の中に向かって、「ありがとうございました！」と礼をして帰って行く清だった。



【授業後の生徒の感想から】
■今日、学習して、人への感謝の気持ちの大切なものだと改めて知ったし、いろいろな人たちと協力することで、どんなことでもできそうな気がしました。

■日頃から「ありがとう」の一言を伝えることは、とても大切だと改めて感じた。家族や地域の人たち、先生たちに感謝を忘れずに、一生懸命チャレンジしたい。

■人と人とのつながりは目で直接見られるものではないけど、本当に困っているときや何かをするときなどに、「つながり」が実感できるんだなと思った。

※この授業ではゲストティーチャーとして民生委員の尾崎明子さんに参加をお願いしていました。授業の最後に、自分自身の体験を通して生徒たちに伝えたいことを話していました。ありがとうございました。



研修会終了後、参加していた四万十市内の中学校の校長先生方から聞いた感想です。「先生方みんなが関わって取り組んでいることも、とってもいい。」「みんなに緊張する場面でも、生徒はみんな頑張っちゃった。50分間真剣に考えようとする姿勢が伝わった。生徒のみんなに伝えちょっとよ。」等々、ありがたい言葉もいただきました。

■入選おめでとう！ 3年 福留聖仁くん

四万十市人権週間事業「人権フェスティバル人権絵画標語展」の「標語の部／中学校」で審査員特別賞を受賞しました。表彰式は、12月1日（土）にJA会館で行われました。

助け合い みんなの人権 守りぬく

■みんなで入選しました！

今年度の「高知県学校新聞づくりコンクール」に応募していた7名全員で作った新聞が、入選しました。裏面にその一部を紹介していますのでお読みください。また、取材等にご協力いただいた地域の皆様、ありがとうございました。

■花を植えています！



11/28（水）、人権擁護委員の助村通俊さんと市役所の担当の方が来校してくれて、生徒と一緒に人権の花を植えました。長年続いている事業ですが、人権を大切にすることに思いを巡らせながら育てていきたいと思います。また、11/29（木）には、学校用務員部会研修会の一環として、蕨岡中学校の環境整備（花壇の花植え）にご協力いただきました。ありがとうございました。



■学校の中の様子から

図書室の入り口にはクリスマスが来て います。もう12月です。学校隣りの前田さん宅のイルミネーションも、毎日きれいに輝いています。

学校における道徳教育 Q&A

道徳の「評価」はどうなるの？

評価は授業改善のためのものであり、道徳科では、特に、数値で評価して他の子どもたちと比較することはありません。道徳科の評価は、道徳科の授業で話し合われることを自分のこととして考えている、他人の考え方などをしっかりと受け止めているといった成長の様子を丁寧に見取り、記述により「励まし、伸ばす」評価を積極的に行います。

なお、道徳科の評価は入試にはなじまないことから、入試で活用したり調査書（内申書）に記載したりすることはありません。

「高知の道徳」より



藏岡は
お金

まず 通帳に取
扱の虚実について
聞こえました。彼は
小学校でモチル通
帳の不思議、
手帳の持つ面白さと
嬉しい驚きとの感じ
は大いにあります。
それが、通帳の本



上以得疾休



てはまことに、その理由を聞かれて、
「者の心は、必ずしも、人間の心と
て思ふ。」といつたが、したがつて、
よもやまを度していきをほひたる所
に、心にあつて、大いに、



農業代表の景平さん

今
ク

藤岡中学校
代表 外田 さくら
福留 森
松田 川村
外田航、村松

中学校 岡山市立第三中学校 情熱

母さん
継続はかなり

そのものは無論私
もそのまゝで、さうして
お便りをうなづいて
もううんざりして
うれしいとすこし



2階の3年教室入り口横にも掲示しています。また、これらの内容については、12/9(日)に行われる「ふるさと発見！ 四万十の子ども研究発表会」でも発表します。